



1695
2



鴨長の寝覚抄卷之二

本院付は男成すゝ事

村と天皇は所母辰の女房は辰とやうなまゝいふて。

まればつきおく。おは世の色好ふてありきり。藤

の依とくや。ひきける男気と心かしくく色好の

名派とりの娘さんとおびてみぬはさうりきり

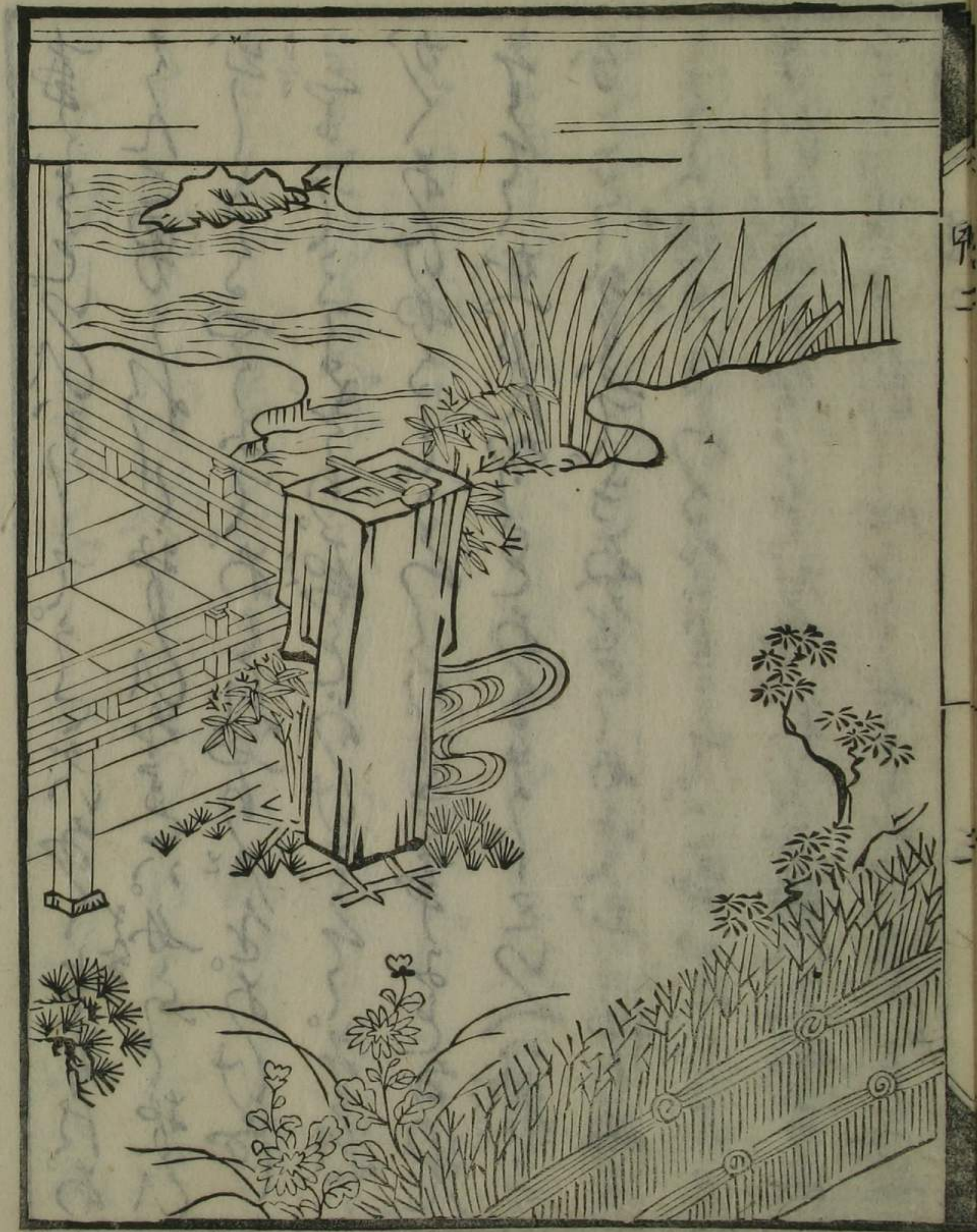
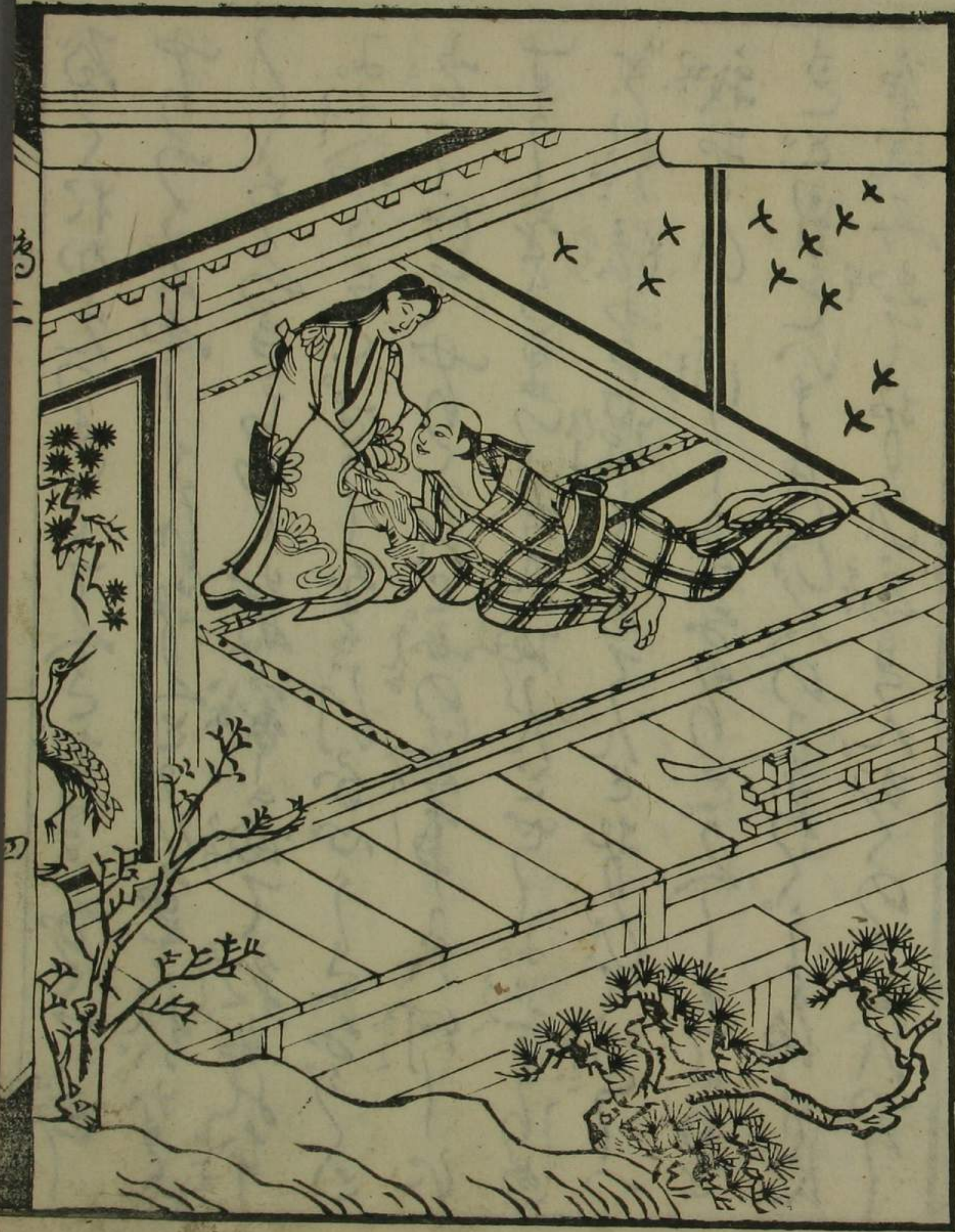
けは長より又さしてわたりきり。あくかゝぬ事

はしきり。あふ事いさうりきり。まじりてかく

あふぬ。はぬま。さうりきりとおひて。ものあまき

あるたぐれのや。又月のあまき。あまき。人の目と



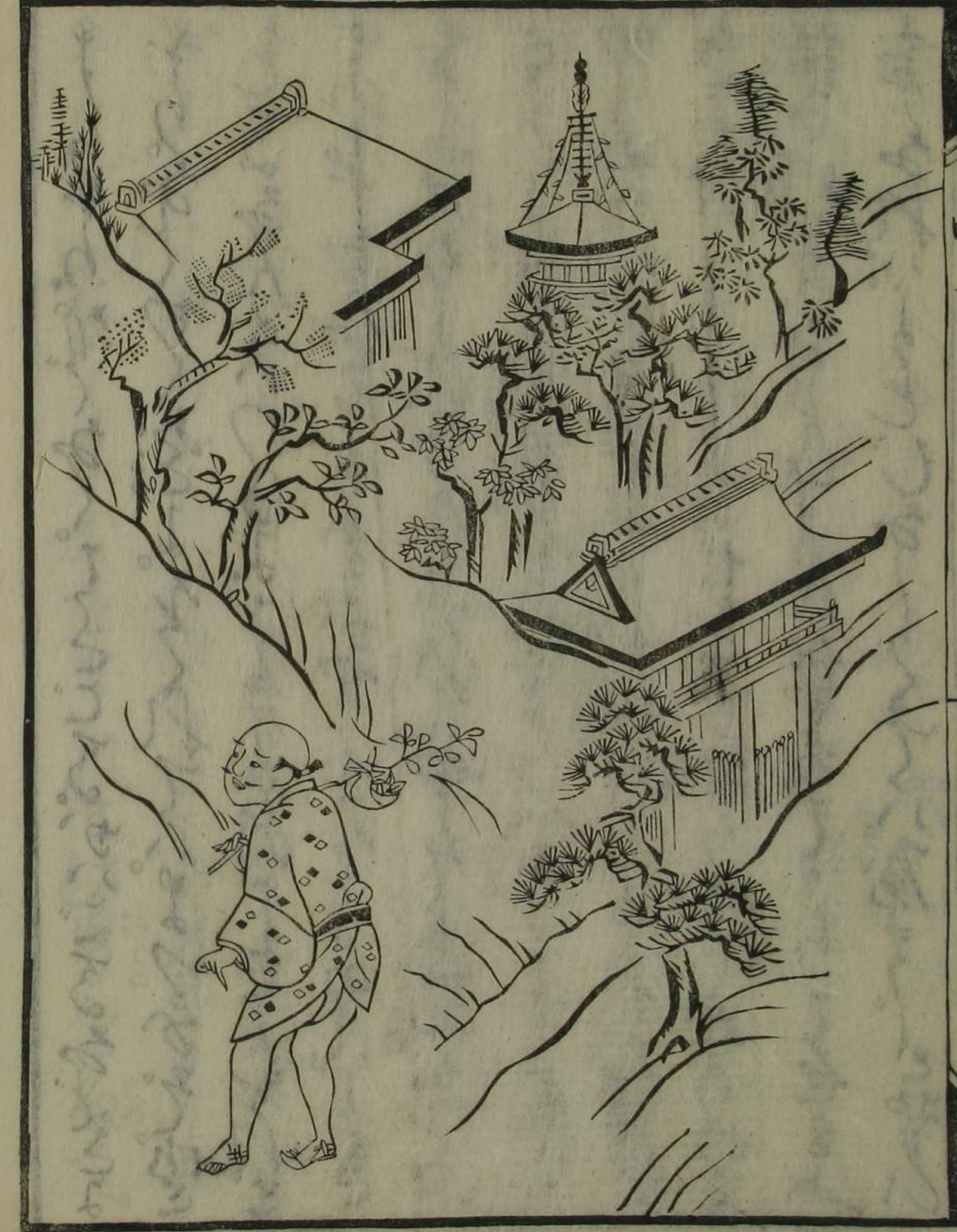


受とみれどがしよとてらうがこれゆゑの思
とそいふん。いふゆゑの思の思で。いづくまでお
はくみん。どさひきれた。我ひりのおきて。さう
おきりらう。さういふ。さういふ。さういふ。そのふ
が。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ
いなりとせら。お仲の備も。あつたりて。いふ
ひんある。さういふ。おを。か。こち。さういふ。さういふ。
じき。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。
く。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。
さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。

寅の刻ぐりののま。ゆゑの思の思。さういふ。さういふ。
男お世の思の思。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。いひ。
お。こち。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。
お。こち。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。
い。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。
よ。何。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。
て。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。
お。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。
お。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。
お。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。
お。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。さういふ。

出でるがごとく大いなるおぼろしきものにては
 身をたれぬ。かくしおいて置かれり。あな
 りあつす。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。
 こころのよきこと。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。
 かくしおいて置かれり。あな。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。
 おて。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。
 かくしおいて置かれり。あな。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。
 かくしおいて置かれり。あな。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。
 かくしおいて置かれり。あな。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。
 かくしおいて置かれり。あな。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。
 かくしおいて置かれり。あな。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。
 かくしおいて置かれり。あな。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。
 かくしおいて置かれり。あな。あつす。あつす。あつす。あつす。あつす。





甲

七

わさるやどよまぶしあつて。いとよろしくかき
布ぬのにびしねちりしく。是わの男おとこよろしくせしか樽かん子
のよろしくびしつひつともおしあひあしと。
かみかみ後ごのそしあれは。わしわしかよわしわしの事
はあせし。これかきしつひつつひつのそしあひあし
むらりむらりなり。糸いとのおりしおりしりもよあ
かきしかきまよしまびかびの。よろしくびしびせんせんする
そしつひつ。そしそせせられられれば。男おとこよろしくこびび布ぬのはれ
て。いといとししどどうう布ぬのににははよよありありあるある事こととれ
として。長なが谷やののししびびああららおおががももゆゆかりかりん

その目めににははききりりななららぬぬのの勢いきほよよああつつ
あきあきあきあきののままよよししももよよおおししゆゆかりかりんん
あがりて。辰つちの時ときししりりよよああららたたくくししりりよよ
いといとまま勢いきほよよししももよよおおししゆゆかりかりんん
ゆゆししりりよよああららたたくくししりりよよ
いといとまま勢いきほよよししももよよおおししゆゆかりかりんん
ととままよよししももよよおおししゆゆかりかりんん
そしそししりりよよああららたたくくししりりよよ
ああららたたくくししりりよよ
ままよよししももよよおおししゆゆかりかりんん
ままよよししももよよおおししゆゆかりかりんん

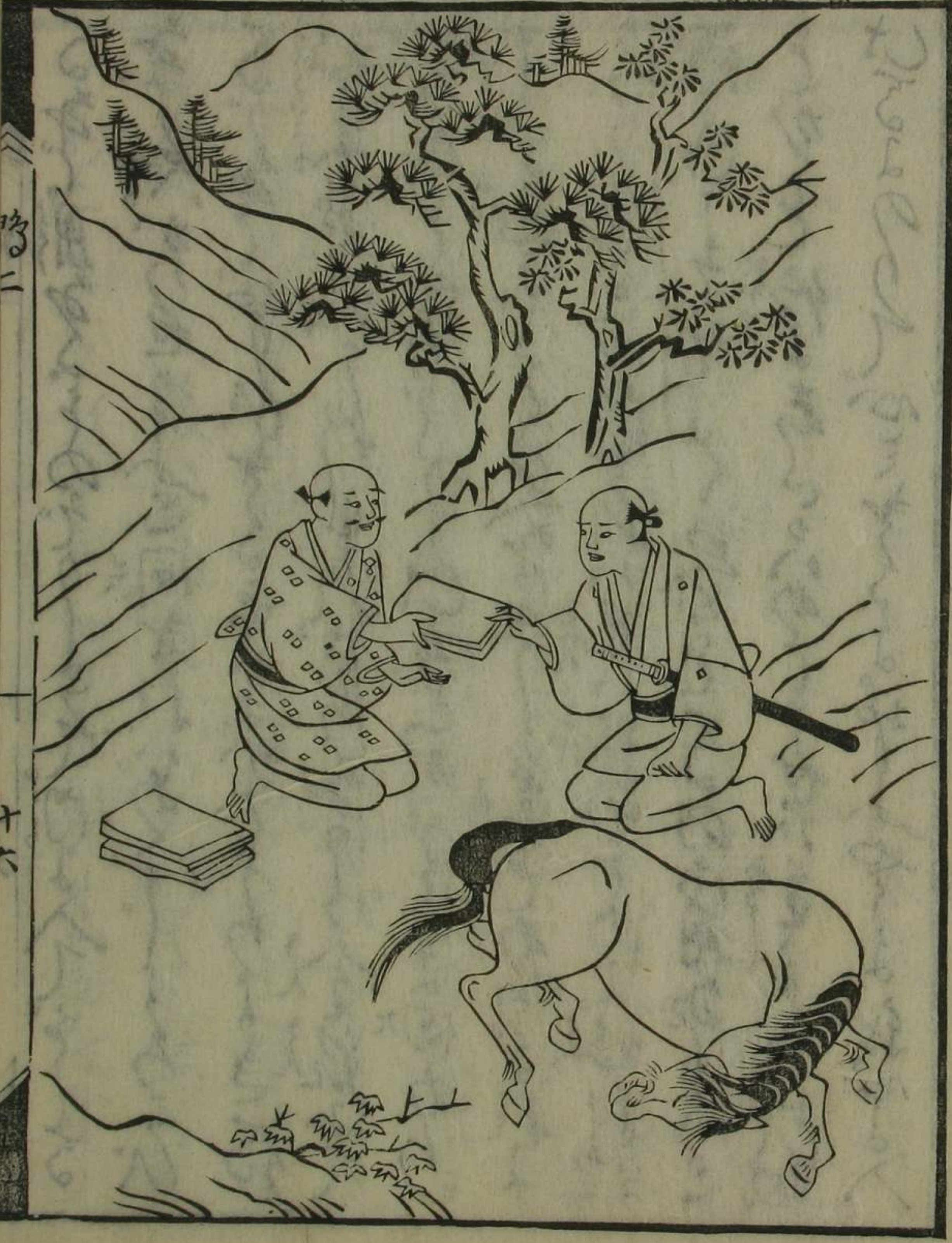
しつぱりなうしろをうしろにまわして見れば
なまじいおとこが一人はなまじいおとこは
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
のりぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
おとこが一人はぬれぬれしたおとこが一人は
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした

そのやうに下へ下へおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした
ぬれぬれしたおとこが一人はぬれぬれした

事ものしよ命めわぬまのいふまへに
 きのよとこ様の事なまはるまへに
 じ道よゆきまははるまへに
 おしよまはるまへに
 きれははるまへに
 てまへに
 りまへに
 そのうち男もあつて
 ついよびつて
 今いふまへに

同様にあつて
 きりもあつて
 まいあつて
 ついよびつて
 今いふまへに

つまへ。今^{いま}つひ^{つひ}の^の有^ありて。さ^さの^のく^くひ^ひの^の我^{わが}食^を
 もの^{もの}を^をよ^よう^うて。い^いと^とは^はう^うわ^わう^うね^ねわ^わの^の系^{けい}
 よ^よの^のが^がり^りま^まら^らう^う。た^たお^おて^てお^およ^よお^お。い^いの^の系^{けい}よ^より
 お^おい^いま^まら^らう^うの^のこ^ころ^ろに^にあ^あり^りて。お^おい^いこ^ころ^ろを^をみ^み
 じ^じい^いと^とい^いは^はす。あ^あり^りお^おお^およ^よう^うに^にお^おい^いか^かん^んじ^じを^をい^いは^はす。
 う^う。お^おい^いま^まら^らう^うの^のあ^あり^りて。あ^あら^らう^うと^とお^およ^より^り
 と^とら^らへ^へお^おい^いま^まの^の室^{むろ}に^にま^まり^りて。い^いま^まの^のあ^あり^りて。お^おい^いま^まの^のあ^あり^りて。
 其^{その}は^はい^いま^まの^のあ^あり^りて。い^いま^まの^のあ^あり^りて。い^いま^まの^のあ^あり^りて。い^いま^まの^のあ^あり^りて。
 と^とら^らへ^へお^おい^いま^まの^のあ^あり^りて。い^いま^まの^のあ^あり^りて。い^いま^まの^のあ^あり^りて。い^いま^まの^のあ^あり^りて。
 あ^あん^んと^とい^いひ^ひ。い^いま^まの^のあ^あり^りて。い^いま^まの^のあ^あり^りて。い^いま^まの^のあ^あり^りて。い^いま^まの^のあ^あり^りて。



るをど彫あるものぞうしこそ。内よ入て。さ
みぢや。かりせのよと回きし。あるで。うらうら
る。ぐ。あ。ぢ。ひ。き。る。あ。よ。あ。ぢ。う。ら。り。う。き。こ。を
お。来。事。の。う。れ。き。れ。さ。ら。な。う。う。金。銀。お。て
實。ん。と。あ。り。ご。し。じ。二。三。町。に。ま。じ。は。回。わ。り
ま。こ。花。よ。こ。り。う。を。ま。さ。し。一。来。と。あ。り。これ。よ
う。そ。ん。や。と。う。ひ。き。れ。は。已。ハ。様。の。と。の。よ。ゆ。れ。だ
銭。の。一。と。が。い。く。ど。と。さ。る。の。由。用。あ。ら。は。と
と。か。と。は。は。ま。さ。し。う。あ。と。せ。ら。ま。ま。う。ら。こ。び。根
は。さ。よ。の。り。て。ひ。こ。き。ら。な。よ。ぢ。よ。あ。ら。は。我。心。よ。入

きれた。あ。ら。の。回。に。所。花。の。内。れ。来。を。ご。と。せ。て
我。家。よ。ゆ。ん。と。う。ら。び。家。を。海。よ。あ。つ。け。を。ご。
あ。ら。の。が。り。み。は。其。時。あ。ら。え。ら。せ。し。軍。の。あ。ら。ひ
と。お。死。し。ゆ。ら。み。ん。ぢ。よ。あ。ら。う。と。れ。甚
み。と。ま。け。し。は。と。か。く。人。も。あ。ら。ま。ご。と。し。ひ。て。
あ。ら。て。や。う。ら。ら。の。あ。ら。は。其。家。よ。入。て。花。ある
来。と。り。ご。し。て。ご。が。か。ら。ぢ。申。さ。し。り。き。る
あ。ら。は。其。あ。ら。の。男。を。ん。な。あ。ら。あ。ら。つ。ら。し。
あ。ん。ご。し。て。後。は。その。家。よ。あ。ら。し。い。あ。ら。い。
き。り。二。月。だ。ら。の。事。き。り。き。れ。は。其。田。を。あ。ら

心よつらむが、おぼやうら我もよしおてはらり
 きんりくおのいおまもきしはまもくはりののの
 事おしをのしおんらん作らんおののの
 やくいでおきれ、猶おりく新をいんて、そ
 ありして、風の吹つておまも、流しおいて、
 き、流人^{そく}とそありきり、ま、其^{その}のあ、
 り、おのりきん、流^{りゅう}はおとさげ、おのりきん、
 ものこして、子孫^{しそん}らん、か、か、か、か、

流人^{そく}とそありきり、ま、其^{その}のあ、
 り、おのりきん、流^{りゅう}はおとさげ、おのりきん、
 ものこして、子孫^{しそん}らん、か、か、か、か、

